太鼓の銘店　「堀田新五郎商店」を訪問しました

令和７年９月 22 日（月）

６月に行った「つしま鰻」訪問に続いて、９月 22 日（月）の授業後に津島市が誇る太鼓の銘店「堀田新五郎商店」を本校の附属中学生６名、高校生２名そして職員３名が訪問しました。

当日は、店主の第 27 代堀田新五郎さんが、我々を出迎えてくださいました。
最初に店の中で、店の歴史や太鼓の作り方などを教えていただきました。
その後は、敷地の奥にある太鼓の製作場所に移動して、実際に職人さん達が太鼓を製作しているところや太鼓の皮や胴の保管場所を見学しました。

胴の保管場所では、堀田さんが生まれたときより前から保管されているものもあるという話を伺い、一同驚きました。たくさんの胴が積まれた保管場所のたたずまいは、まさに圧巻でした。

説明の最後に、全員が大きな太鼓を実際に打たせてもらいました。「心に響く音」とは、まさにこのことだと感じられる瞬間でした。
堀田さんからは「学校から近いので、気になることがあったらいつでも聞きに来ていいよ。」という優しい言葉をかけていただきました。
参加した生徒達は、今後も太鼓の皮の再利用などについてアイディアを出すなど、商店との繋がりを継続していく予定です。
これからも津島高等学校・附属中学校では、地元の方の協力をいただき、地域の魅力を再発見し、その技術や工夫を学んでまいります。ご期待ください。

津島高等学校全日制教頭　金澤　学